

## (2) 重点教育目標の設定について

### ① 重点教育目標設定の背景とその必要性

教育目標設定委員会では、昭和54年6月から7月にかけて、教育目標設定の3か年にわたる研究経過報告と人生各期にわたる教育目標（試案）について、中間発表会を開催し、人生各期にわたる教育目標に対する市民の意見や要望を聴取した。

その中で、「人生各期にわたる教育目標は、目標数が多く、一般的、網ら的な傾向も見られる。」「足利の風土に根ざした目標や、市民が特に重視していくべき目標を設定する必要がある。」等の意見や要望をいただいた。

目標設定委員会としても、これから教育目標を達成するための具体策の策定や、教育機能連関を考えていく中で、早急に取り組まなければならない課題や特に力を入れていかなければならない課題等を明らかにし、教育目標の焦点化を考えていた。

以上のことから、目標起草委員会では重点教育目標設定の必要性について検討し、次の3点をあげることができる。

- ア 人生各期の教育目標が生きてはたらくためには、各主体者が、自ら取り組むべき教育目標を設定するところに意義がある。すなわち、個人、家庭、学校、地域、職場行政等の各主体者が、自らの実態をふまえて設定されていかなければならない。重点教育目標は、各主体者が自らの目標を設定していく際の手続きの面や内容の面でも、参考になるように設定する必要がある。
- イ 人生各期にわたる教育目標は、一般的、普遍的な内容を兼ね備えている。足利市の教育目標となるためには、足利市の歴史的な背景や文化的な伝統をふまえ、足利の風土に根ざした地域性の色彩の濃い目標を設定する必要がある。
- ウ 人生各期にわたる教育目標は目標数が多い。足利市民が早急に取り組むべき目標や特に重視していくべき目標を浮きぼりにし、目標の焦点化を図る必要がある。

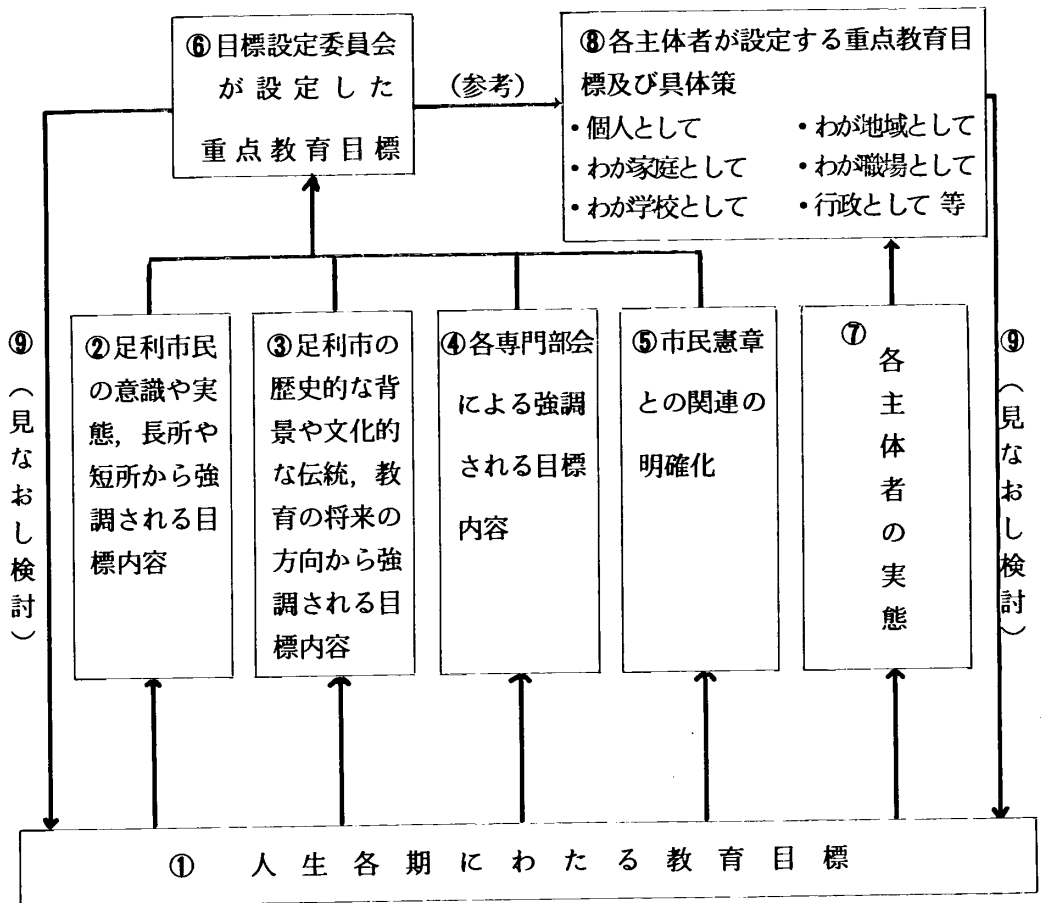
### ② 重点教育目標設定の全体構想

目標設定委員会では、設定の背景やその必要性をふまえ、重点教育目標設定の全体構想を検討し、それに基づいて設定作業を進めた。

- ① 各専門部会の教育目標、教育課題、達成目標を整理・統合し、人生各期にわたる教育目標を設定する。  
さらに、目標達成のための具体策の策定及び教育機能連関を明らかにする。
- ② 市民の意識や実態、市民の長所や短所を明らかにし、それらから強調される目標内容をとらえる。
- ③ 足利市の歴史的な背景や文化的な伝統、足利市教育の将来の方向の角度から、強調される目標内容をとらえる。

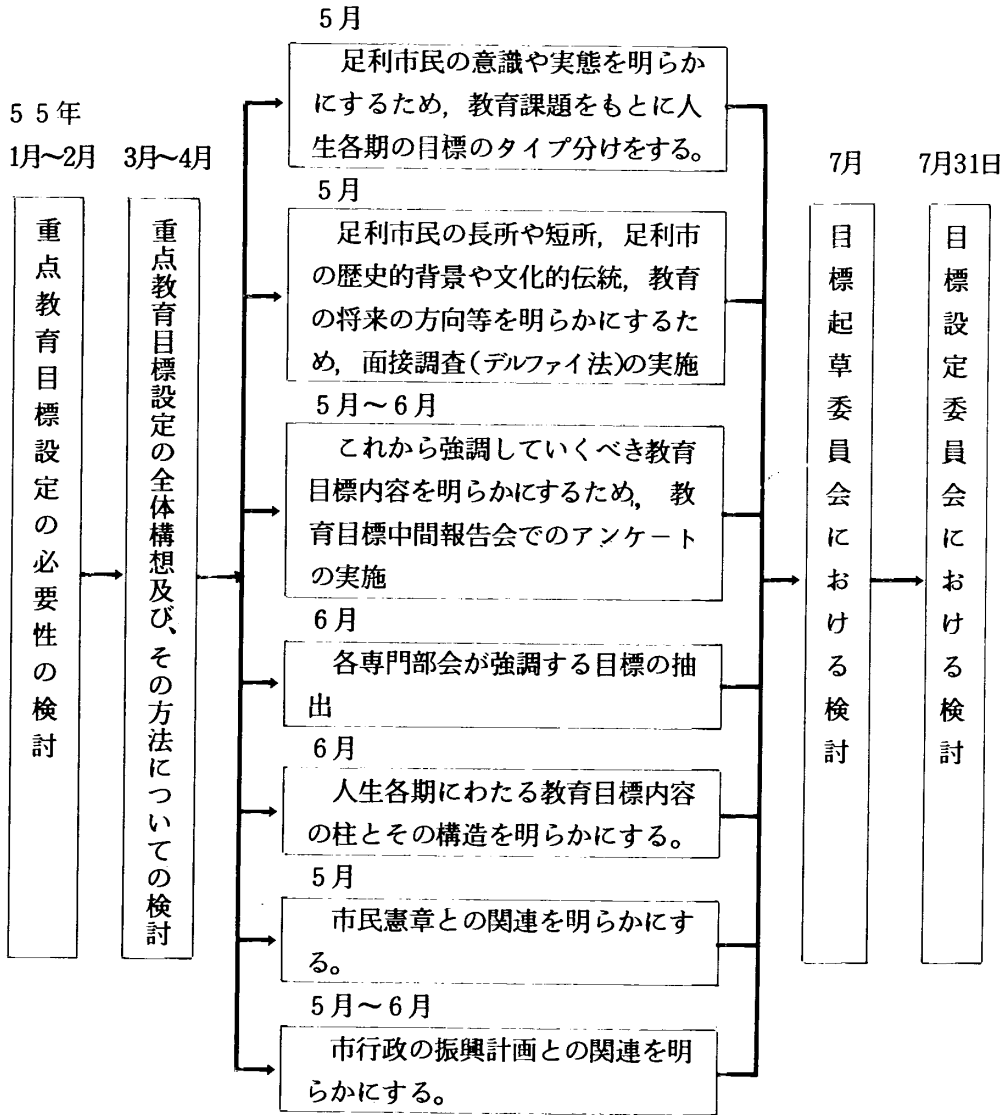
IV 足利市の教育目標設定の実際

- ④ 各専門部会がえがく望ましい姿の角度から、強調される目標内容をとらえる。
- ⑤ 市民の指標である市民憲章との関連をとらえる。
- ⑥ 各主体者が、人生各期にわたる教育目標をもとにして重点化する際の参考にもなり、また、目標設定委員会が重点的に取り組むことが望ましいと考える目標を重点教育目標として設定する。
- ⑦ 各主体者が、人生各期の教育目標に照らして、各主体者の実態的な姿をとらえる。
- ⑧ わが家庭、わが学校等の各主体者が、各主体者の実態をふまえて、自らの目標及び具体策を設定する。
- ⑨ 重点教育目標設定後においても、目標達成状況や足利市振興計画との関連、また、各主体者の目標達成状況や実態をふまえ、見直し検討を行う。



### ③ 重点教育目標設定の経過

重点教育目標設定の全体構想に基づき、次のような手順で設定作業を進めた。



### ④ 教育目標内容の柱とその構造

重点教育目標の設定に当たっては、人生各期にわたる教育目標が、どのような目標内容からできているかを明らかにし、それらをふまえて設定しようとした。

そこで、人生各期にわたる教育目標について、目標内容の角度から集約して「教育目標内容の集約内容」を浮きぼりにし、さらに、それらを集約して七つの「教育目標内容の柱」を設定した。

IV 足利市の教育目標設定の実際

